

エコールみよた
Clip Board

エコール
みよた
32-2770

公民館歴史講座
受講生募集のお知らせ

佐久平の
用水路開削の歴史

現在も活かされている、驚くべき江戸時代の土木技術！
佐久平の農耕地開拓の基礎となった2カ所の用水開削を学びます。

第1回 1月22日(土)

「五郎兵衛用水」

講師 小林 収 氏

第2回 2月19日(土)

「御影用水」

講師 宮地 國夫 氏

時 間 午後1時30分～3時

会 場 エコールみよた 大会議室

申込方法 1月5日(水)午前9時から
電話、または窓口にて

定 員 50名

問い合わせ先

教育委員会生涯学習係 (32)2770

浅間縄文
ミュージアム
32-8922

講演会

発掘された浅間山天明
噴火の爪痕 -被害の実相-

最新の発掘調査の成果から、天明三(1783)年の浅間山大噴火の被害の実態と当時の人々の暮らしに迫ります。

日時 1月30日(日) 午後1時30分～3時
場所 エコールみよた 大会議室 聴講無料
講師 関 俊明 氏(近世考古学研究者)

シリーズ 佐久のお宝

「佐久地方の土偶展」

佐久地方で発掘された不思議な縄文土偶の数々を展示します。

会期 1月22日(土)～2月6日(日)
午前9時30分～午後5時(月曜日は休館)
場所 浅間縄文ミュージアム企画展示室
入場無料



縄文時代中期の土偶(川原田遺跡・国重要文化財)

フレンドリー
図書館
32-0800

ボランティア講座
受講者募集

日時:1月29日(土)午後1時30分～
場所:エコールみよた 中会議室
内容:おはなし会のプログラムの組み方、
本の選び方など
定員:20名(申し込み先着順)
講師:小関知子氏(東京子ども図書館)

1月のおはなし会の予定

ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け)

1月6日(木)・20日(木) 午前10時30分～

おはなし会

1月8日(土)・22日(土) 午前10時30分～

昔がたり～冬のおはなし～

1月15日(土) 午後2時～





7th あつもりピアノリレーコンサート

～ピアノの名器・スタインウェイを奏でよう!～

3月6日 [日] 午前9時～正午
エコールみよた あつもりホール

エコールみよた あつもりホールのピアノは世界中の音楽愛好家の憧れである「スタインウェイ」社のピアノです。ひとりでも多くの町民や音楽愛好家にスタインウェイの美しい音色を実感してもらい、音楽文化の向上や交流を目的に、本年もピアノリレーコンサートを行います。

申し込み・問い合わせ先
町公民館(エコールみよた内)
(32) 2770

参加資格 ・御代田町民、または町内に勤務している方でピアノ演奏が可能なる方
・原則としてコンサートを最後まで聞いていただける方

募集定員 50人(組)伴奏者のみ重複申込可能

参加費 無料

演奏時間 1人(組) 1曲、入退場含め5分以内

参加申込
◆参加を希望する場合は、エコールみよた内公民館窓口にあります参加申込書に、必要事項を記入のうえ、**2月8日(火)～2月22日(火)**までにお申し込みください。
※日曜日、月曜日は担当職員が不在になります。お申し込みはなるべく火曜～土曜にお願いします。受付時間は午前9時から午後5時とします。
※申込受付期間内でも定員50組になり次第締め切ります。
※**プログラムを組む関係上、申し込みは必ず期限内にお願いします。**

主催: 御代田町教育委員会(御代田町公民館)
協力: あつもりミュージックメイツ

BOOK
コーナー

ほんとに、いい出会い。

はじめて
絵本の世界



『水おこのいるところ』
イーヴォ・ロザーティ/作
ガブリエル・パチェコ/絵
田中桂子/訳 岩崎書店

前回に引き続き、全国学校図書館協議会によって選定された「よい絵本」の中から、今年新たに加わった絵本を紹介いたします。今回は**外国の絵本**です。

『水おこのいるところ』
開いたままの蛇口から生まれた水おとこ。水おとこが廊下を水浸しにしてしまったので、人々は追いかけて、捕らえようとします。水おとこは夜にそつと出かけて、花に水をやり、汚れた窓を洗ったり、のどの渴いた人に水をあげたりします。やがて人々も水おとこに心を開いていきました。そんなある日、嵐がきて町が雨に飲み込まれると「ここへ帰っておいで」という声が聞こえてきました。その声から逃れて、水おとこはちいさな村の泉の水になりました。



『トムとことり』
パトリック・レンツ/作
主婦の友社

『トムとことり』
ある日、トムは市場で一羽の小鳥に心を奪われ、父親に買ってもらいました。トムは小鳥をとてども大事に育てました。しかし、小鳥はせまい鳥かごの中で元気をなくし、どんどん弱っていくのです。トムは心を通い合わせようと、小鳥が仲間や子どもたちのいる所へ帰りたがっていることを知ります。

トムは涙を流し、鳥かごの戸と窓を開け、小鳥を空へ解き放しました。

小鳥の残した一枚の羽。その羽を手に眠ると、大きくなった鳥が現れ、鳥のすむ世界にいざなうのでした。

『水おこのいるところ』は、小学校中学年から、『トムとことり』は、幼児から楽しめます。